



今回、手伝ってもらうのは、枯れ葉などの切り取りです。実が順調に成長するためには、欠かせない作業なんです。

## 気軽に体験

作業の前に、農家の人が手順を丁寧に説明してくれるので、初めての人でも安心して活動できます。また、昼食や休憩で、農家の人との触れ合いも楽しめます。

### 援農かせ隊は心強い存在

収穫や植え付けの時期など、夫婦だけでは大変なときがあります。そんなとき頼りになるのが、援農かせ隊です。作業を通してできる交流も楽しみにしています。ぜひ、気軽に参加してください。



キュウリ生産者 得丸芳昭さん(右)、美津子さん(左)

数が多くて夫婦だけでは大変そう。これならわたしでも手伝える。

## 植え付けや収穫など さまざまな援農メニュー

四季を通して、さまざまな体験ができます。援農かせ隊に登録すると、作業内容などをまとめた「援農メニュー」の中から希望する作業や日時を選ぶことができます。

<b>野菜</b> キュウリ、ニラ、イチゴなど	<b>果樹</b> 甘夏、八朔、柿など	<b>花・植木</b> ホオズキ、ヒマワリ、植木など	<b>稲作</b>	<b>シイタケ</b>	<b>畜産</b>
<b>作業内容</b> 植え付け、草取りなど	<b>作業内容</b> せんてい、剪定、収穫など	<b>作業内容</b> 植え付け、収穫など	<b>作業内容</b> 田植え、稲刈りなど	<b>作業内容</b> コマ打ち、摘み取りなど	<b>作業内容</b> 牛のエサ用のワラ運びなど
<b>場所</b> 鶴崎・大南・野津原地区	<b>場所</b> 佐賀関・野津原地区	<b>場所</b> 大南・野津原地区	<b>場所</b> 鶴崎・野津原地区	<b>場所</b> 野津原地区	<b>場所</b> 野津原地区

※作業内容は一例です。都合により変更になる場合があります。

### 援農かせ隊に登録しませんか

- 対象** ▶ 農作業ができれば、年齢や性別などは問いません。未成年者の場合は保護者の同意が必要です。
- 費用** ▶ 交通費は自己負担です。昼食は受け入れ農家が提供します。ボランティアですので、報酬はありません。参加者には市ボランティア保険を適用します(参加者負担なし)。
- 申込み** ▶ 産業振興課(本庁舎9階)に備え付けの申込書(市ホームページでダウンロードも可)に必要事項を記入し、本人確認ができるもの(運転免許証、健康保険証など)の写しを添えて、郵送またはファクスで、同課(〒870-8504 荷揚町2番31号 ☎533-6117)へ。

お問い合わせ 産業振興課 ☎537-7025

### 農作業を手伝って

今年で登録して5年目。これまで、田植えやシイタケのコマ打ちなど、さまざまな作業を手伝いました。やっぱり楽しみは、汗をかいてリフレッシュできることと、農家の人との触れ合い。収穫を手伝った農作物を分けてもらったときは、うれしかったですね。



援農かせ隊 堀田 詞さん

作業が終わった後に「ありがとう。また待ちょんけん」と笑顔で言われると、どんなに疲れていても、また力になりたいと思います。

今回の「援農かせ隊」体験レポートを、さらに詳しく紹介します。ぜひ、ご覧ください。  
放送日：5月2日(土) 午前11時～正午の間で約8分間



加勢してくれらる人、待ってっちょんでー!!

いい汗流しましょー!! 農作業で

# 援農かせ隊

農作業をお手伝い。

キュウリ生産者 得丸 芳昭さん

市テレビ広報番組「知っトク!大分市」日高 由貴リポーター

手伝いながら 農業の楽しさを実感

農業を体験したい人や農家の助けになりたい人などが、ボランティアで農作業を手伝う「援農かせ隊」。

近年、後継者不足などにより農作業が忙しいときに人手が不足している農家が増えています。

援農かせ隊の作業は、農作物の植え付けや草取り、収穫など、農繁期のお手伝い。農業の知識や経験がなくてもできる作業がほとんどです。

農作業を通して、土の感触や農作物が成長する喜びを知ることができ、ときには、天候などで作物が思い通りに育たない農業の大変さを学ぶことも。

自然の中で体を思いっきり動かしながら、農家のありのままの日常を体験します。

農家の人との会話を楽しみながら、日々の生活では経験することができない発見や感動が援農かせ隊の活動にはあります。

今回は、市テレビ広報番組の日高リポーターが、鶴崎地区でキュウリ栽培を行う得丸さんのガラスハウスで農作業を手伝いました。

\*「かせ」とは、大分弁で「加勢する」という意味。